

高校生のための教職説明会 <11月9日 16時～>

11月9日の放課後に高校生のための教職説明会を開催しました。

講師は本校の卒業生で、現在各務原市立中央中学校教諭の橋爪 快先生と華陽フロンティア高等学校教諭の田口 峻先生、また岐阜県教育委員会教職員課から御宿課長補佐の3名です。

最初に、各先生から教員になったきっかけや、教員で良かったこと、大変だったことなどお話しいただき、その後岐阜県の取り組みや教員採用試験についてご説明いただきました。先輩にあたる先生方の率直で熱い思いに、生徒たちも引き込まれ、熱心に話を聞いた後は、活発な質疑応答も行われました。今後の進路選択に向けて貴重なアドバイスを得ることができ、よい機会となりました。



高校生のための教職説明会 生徒感想

- ・様々な経験をする事の大切さを感じた。一言に教員と言っても、生徒や地域、学年等によって教育も変わってくると思うので、様々なことに取り組み、活かせるようにしたい。
- ・今日、先生方の話を聞いて一番思ったのは、大学を卒業してからの採用試験の大変さ、難しさなどです。でも、日常の中には小さなうれしさや楽しみがあると知れたので、良い職業と思いました。
- ・時々、いろんな人に「学校の先生は大変でしょ。」と言われることがあったので、あまりならないほうが良いのかなと考えた時もあったけど、今日の説明会を通して、良いこともたくさん知れたので良かったです。
- ・今日の話聞いて、失敗や辛いこともたくさんあるけれど、それはやっていく中で自分で解決していけるようになるし、喜びがモチベーションにつながっていくのだということが分かりました。
- ・教員は今と昔ではだいぶ違っている。今自分にできること、やるべきことはたくさん経験すること。たくさん経験して、失敗することが、自分たちを成長させてくれる。
- ・今のうちにいろいろなことを学んだり、経験して将来のためになるようにしていきたい。
- ・たくさん話を聞いて、今からでもできることも聞けたので、あと2年間くらいの高校生活でたくさん活かしていきたいと思いました。
- ・もともと興味があって、いろいろな話を聞いて貴重な体験ができました。この話から進路を考えたいです。
- ・自分が今までに考えていた「ブラックな教員」という考え方が、今日の話の中にあつた教員に対する様々なサポートの話によって変わりました。ますます勉強に熱が入る気がします。